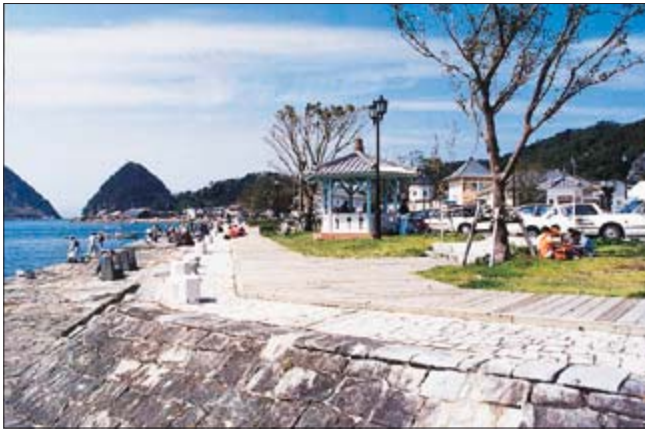


2-4 休日は港へ！ウォーターフロントには楽しさがいっぱい

魚釣りやクルージング・水上バイクなど海には楽しさがいっぱいあります。また、生命の源である海にはヒーリング（癒し）効果があるとも言われています。

港では、一般の人達が楽しめるスペースもたくさんあります。県内では、三角港西港地区の歴史的環境保全緑地や水俣港百間地区のエコパーク水俣がその代表といえるでしょう。また、熊本港、八代港、三角港、水俣港などでは、港が有する広大な土地を利用した地元のお祭りや花火大会、また海の日を中心にフェスティバルなどのイベントも開催されています。



三角港 西港地区

歴史的環境保全緑地

「10月に港湾では唯一、国の重要文化財に指定」

明治時代に築かれた石積みふ頭・水路が当時のまま残っています。これら歴史的港湾施設を保存・復元し活用を図る目的で緑地の整備を行っています。

水俣港 百間地区

緑地「エコパーク水俣」

水俣病の原因となった高濃度水銀を含む汚泥を処理するために水俣湾公害防止事業が実施され平成2年に完了しました。この事業により造成された埋立地では「環境・健康」をテーマに緑地・都市公園の整備を行っています。ここでは平成11年の「くまもと未来国体」、平成13年の「ひのくに新世紀総体」のソフトボール会場となりました。



熊本港

干潟フェスタ

有明海・八代海特有の広大な干潟を直接見て、触れて、干潟に生息する動植物を観察するなどの環境体験学習を熊本港周辺の干潟で、熊本大学主催により毎年開催されています。

熊本港では、渡り鳥・野鳥や干潟の観察場所などの緑地整備を行っています。